

ナンバープレート

J A 1 W O B 齋藤 章

12年ほど乗ったカローラアクシオの走りには問題無かったのですが、71歳を過ぎて高齢者ドライバーの仲間入りとなりました。

安全の為サポートカーを検討しようと思って、お世話になっているディーラーでカタログを集めたり、インターネットで各社の車のカタログを調べてみました。

21世紀になって20年、真に、昔の映画に有った、未来の車がありました。アクセルとブレーキの踏み違い検知と警告やセンターライン越え警告や道路標識の表示と警告など、ドライバー以外にもう一人信頼出来る、サブドライバーがいるかの様です。空を飛ぶ車は、見つかりませんでした、ドローンの出現によって現実的に成りつつあります。

いろいろと検討した結果、1000CCクラスのサポカーで、トヨタのルーミーに決定しました。

1000CCの車は50数年前に、サニーに乗って以来です。試乗してみると、当時の1000CCカーと比べると中は広いしパワー不足は感じませんでした。

車が決まり、購入手続きを行う際に車のナンバープレートの希望番号を聞かれました。何時もの様に成行き番号で良いと思ったのですが。最後の車となりそうなので特徴ある番号を付けようと思い、5024、7388、0599など頭に浮かんだのは、やはり無線関係の番号でした。

しかし、いかにも、無線屋さんですという番号も、いやだったので、真空管の番号を付けようと思い、無線関係で最初にお世話になった送信管は、6AR5、次が2E26いずれも途中で英文字があるので、ダメです。

開局当時に多くのHAMが使った、送信管の807は数値だけですが、私は使った事がないのでダメです。そこで、2E26の次に使った6146にしました。

ディーラーの店長が、「6146は何か思い入れがあるのですか？」と聞かれたので、「アマチア無線機の趣味があり、昔かし、送信機に使った真空管の型番です」と云うと、店長は納得してくれました。

店長が若い営業マンを呼んで、「6146は、真空管の型番って知っている？」と聞くと、若い営業マンは「真空管???」、、「聞いたことも無い」との事でした。

昭和40年位までに生まれた人は、真空管と云われて、「あ～昔のラジオ？」とか返事が来ますが、最近の人は知るはずもないですね。

しかも、その真空管の個々型番なんて、”ちんぷんかんぶん”の様でした。

トランジスタの前は、真空管だったと話しても、分からないようで、ICの話をするやと電子部品である事を理解したようでした。

後日、スマホで6146の写真を見せてあげると、不思議そうに見ていました。

RCAとかTOSHIBAと書いてあったので、電気メーカーが作っていた事を納得して頂きました。

デジタル家電になって、箱の中身は何だか分らくなっているのだなと、思いつつ。
興味のない人は、TVやパソコンやタブレットの中身はどうであれ、便利に使えればいいので、なんのデバイスが入っているかなんて関係いですね。
60年以上前の子供ころ、最新家電であった、ラジオの名前は、「3球ラジオ」とか「並4ラジオ」「5球スーパーラジオ」とか呼んでいましたから、自然と真空管が使われている事を認識していました。
また、「トランジスタ ラジオ」という言い方をしていましたか、トランジスタが使われている事は認識していました。

携帯電話からスマホに変わり、デジタル通信の世界も便利で不雑になっています。
これからのスマホは「5G」になります。データ使用量は「20GB」です、と云われて中身を本当に理解している人はいるのだろうか思う事があります。
ワードばかりが、飛び交い、内容が分からない事がしばしばあります。
でも、5世代通信で通信速度は速くなり容量が大きくなり便利になるのでしょうか！。



【開局間もない頃の6146真空管】
【新旧・納車時の記念写真】

2月時点で、モバイルアンテナと電源はまだ未設置です、トランクの無い車は、初めてなのでアンテナの取付けに思案しています。

終わり